



ここから、たんまつを使った^{つか}学習^{がくしゅう}がはじまります。

ここでは、たんまつを使う^{つか}前^{まえ}に知^しっておくべきこと^きや気^きをつけておくべきこと^きについて^{まな}学びます。

さいしょにチェックしてみよう

- わたしは、たんまつを使う^{つか}ときの言葉^{ことば}を知^しっていると思^{おも}う
- わたしは、自分^{じぶん}にあった方^もほうで文字^じを入力^{にゅうりよく}することができると思^{おも}う
- わたしは、たんまつを大切^{たいせつ}に使^{つか}っていると思^{おも}う
- わたしは、よりよいパスワードの作り^{つく}方^{かた}や使^{つか}い方^{かた}を知^しっていると思^{おも}う

これから、たんまつを使った学習がはじまります。
 上の1～3の言葉のせつ明として正しいものを、下の①②③の絵からえらび、線でつなげましょう。

1

タップ

2

アカウント

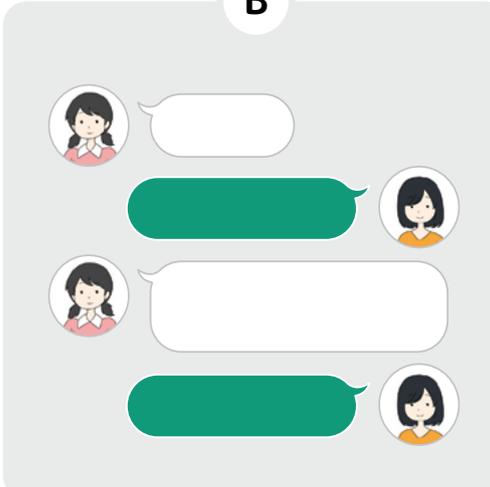
3

チャット

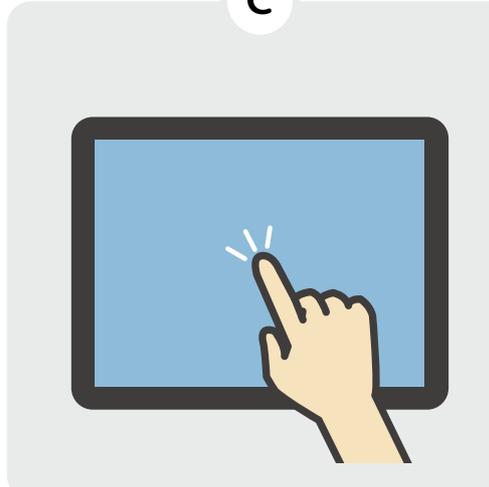
①



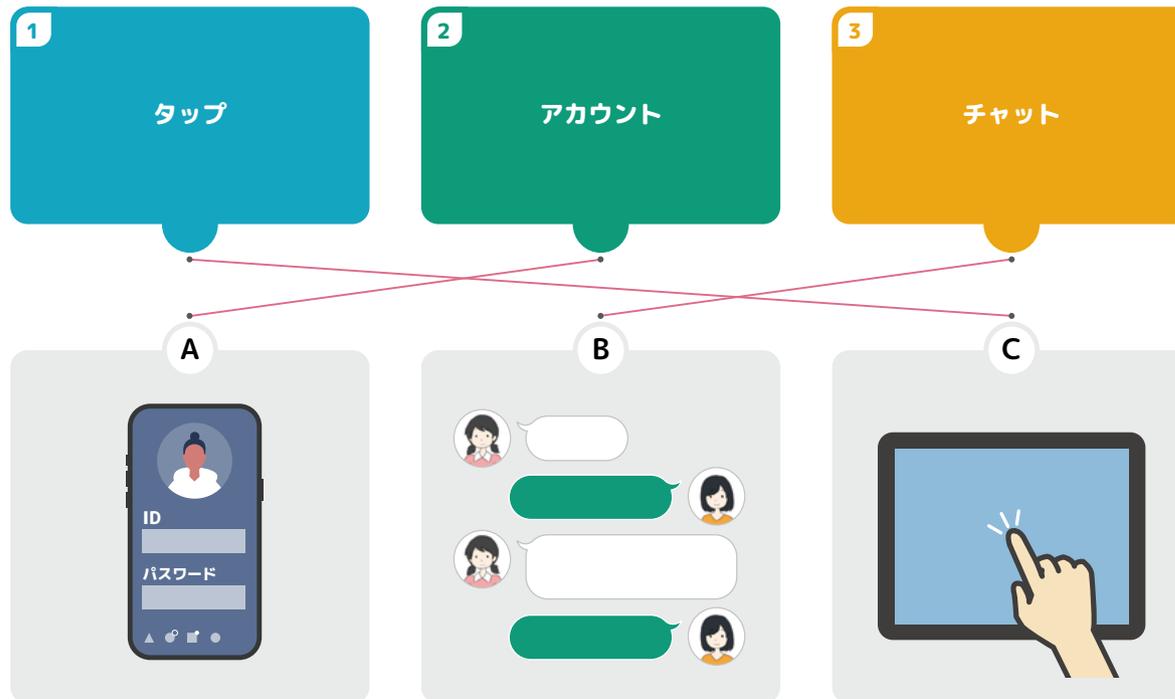
②



③



せい
正かい



☆ スキルのポイント

「タップ」とは、指^{ゆび}で軽く^{かる}さわることです。

「アカウント」とは、その人のこと^{ひと}をはんだんするもので、家^{いえ}にたとえば住所^{じゅうしょ}のようなもの、「パスワード」とは家^{いえ}のカギのようなものです。パスワードはとても大切^{たいせつ}なものなので、人^{ひと}に教え^{おし}ないようにしましょう。

「チャット」とは、ネット^{うえ}上^{もじ}での文字^{もじ}だけのコミュニケーションのことです。

タブレットでは、いろいろなほうで文字を入力することができます。
つぎ ことば じぶん ほう にゅうりよく
次の3つの言葉を、自分にあつたほうでそれぞれ入力してみましょう。

1

おいしい

2

ごはん

3

がっこう

キーボードで



てが
手書きで



おんせい
音声で



とも
友だちとくらべてみよう

キーボードで



てが
手書きで



おんせい
音声で



★ スキルのポイント

もじ にゅうりょく
文字の入力は、これからひつようなスキルになります。

じぶん にゅうりょく
自分にあつた方ほうで入力できるようにするとともに、ぜひキーボード入力に
もチャレンジしてみましよう。

れんしゅう じゅう
くりかえし練習することが重ようです。





たいせつ つか 「大切に使う」とは

つぎ 次の3つのことを実践にやってみて、^{とも}友だちとくらべてみましょう。

1

たんまつを
「しずかに」
とじる

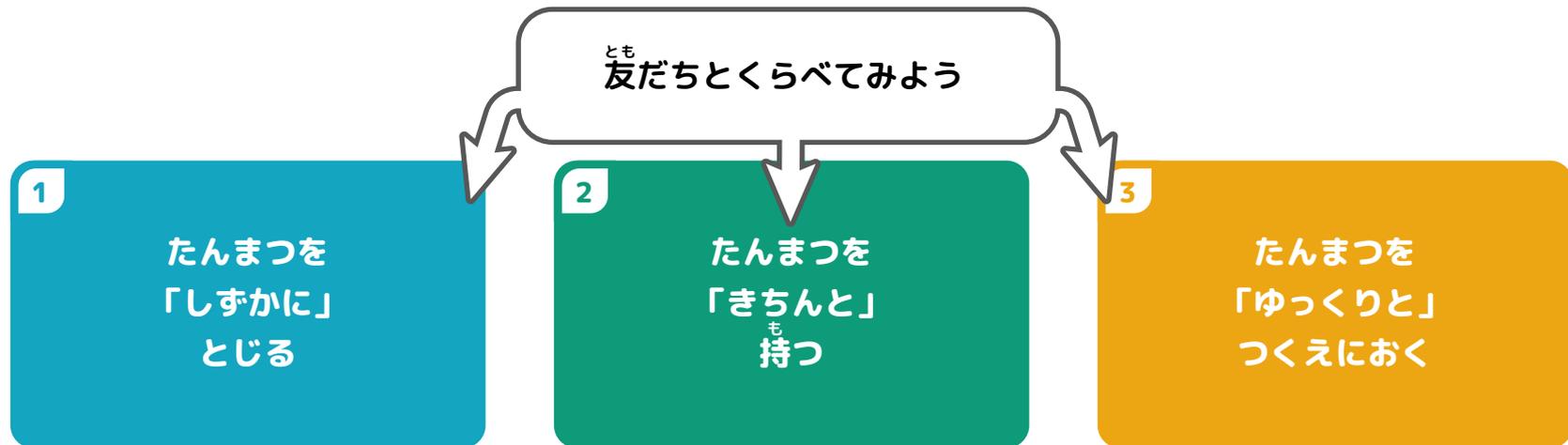
2

たんまつを
「きちんと」
も
持つ

3

たんまつを
「ゆっくりと」
つくえにおく





★ スキルのポイント

たんまつは、大切に^{たいせつ}使わ^{つか}ないとこわれてしまうことがあります。
もし、こわれてしまうと、しゅうりのために^{じかん}時間がかかり、みんなと^{おな}同じようにたんまつを^{つか}使えなくなることもあります。

たんまつを^{つか}使うときは、できるだけやさしくさわったり、しっかりと^{りょうて}両手で持^もったり、ゆっくりとつくえにおいたりすることを^{こころ}心がけましょう。





パスワードの作り方や使い方

パスワードにかんする3つの^{こうどう}行動を、「○^{もんだい}問題はない」「×^{もんだい}問題がある」にわけてみましょう。

1

わすれないように、パスワードを自分のたん生日(1215)にした

2

わすれるかもしれないので、友だちにパスワードを教えた

3

友だちがパスワードを入力しているときは、その様子を見ないようにした

○^{もんだい}問題はない **A**

B ×^{もんだい}問題がある

○ 問題はない **A**

3 とも
友だちがパスワードを
にゆうりよく
入力しているときは、
ようす み
その様子を見ないように
した

B × 問題がある もんだい

1
わすれないように、パス
じぶん
ワードを自分のたん生日
じょうび
(1215) にした

2
わすれるかもしれないの
とも
で、友だちにパスワード
おし
を教えた

★ スキルのポイント

パスワードを自分のたん生日にしてしまうと、ほかの人にかんたんに予想されてしまいます。

パスワードは、他の人がかんたんに予想できないようにして、だれにも教えず、もし友だちがパスワードを入力しているときは、その様子を見ないようにしましょう。





つか まえ
使う前に

まとめ

じょうず つか 上手に使うために

たんまつは、^{つか}使おうと思えば、^{おも}学習だけでなく^{あそ}遊びにも^{つか}使えてしまいます。

「なぜ、たんまつが^{はい}配^りふされているのか」、その^{りゆう}理由を^{かんが}えながら、たんまつを^{ゆう}有^{つか}こうに^{つか}使^{つか}っていきましょ
う。

チェックしてみよう

- わたしは、たんまつを^{つか}使うときの^{ことば}言葉を^{めい}せつ明^{めい}することができる
- わたしは、^{じぶん}自分にあ^もった^{にゆうりよく}方^もほうで^も文字^{にゆうりよく}を入力^もすることができる
- わたしは、たんまつを^{たいせつ}大切に^{つか}使う^{つか}ことができる
- わたしは、よりよいパスワードの^{つく}作り^{かた}方や^{つか}使^{かた}い^{めい}方を^{めい}せつ明^{めい}することができる